

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	南総部会・清和県民の森 「春の自然・地層観察会」		
開催日時	2021年 4月 10日(日) 10時00 ~14時00分		
開催場所	君津市 清和県民の森 セラピーコース	一般参加者	12名

4月10日君津市清和県民の森にて「春の自然・地層観察会」が行われました。朝方の雨に多少の不安がありましたが山道は問題なく歩くことが出来ました。開会のあいさつの後、清和県民の森マスコットの「りんたろう君」(自称です)の今回の観察会の紹介があり皆さん笑顔が出てリラックスされていました。

木のふるさと館に展示されている貝化石を使い清和県民森の「安房層群清澄層」(500万年前)と言われる地層と貝化石の産出された上総層群の「市宿層」(70万年前)、「梅ヶ瀬層」(80万年前)の環境の比較を少し説明したあと実際に県民の森に入り「清澄層」のダイナミックな地層をご紹介しました。



千葉県は深海の海底から隆起した比較的新しい地層の県であることを紹介し、ここ清和県民の森では人類の起源と言われている500万年前の地層清澄層(砂岩と泥岩の互層)を見ました。



清澄層の特徴である33の鍵層の下から6番目のKy6通称「秋田おばこ」にて地層比較で大事な鍵層(火山噴出物)の説明と火山灰を使った10円玉磨きを実演しました。(コロナの関係で皆さんに体験させられませんでした)

そして春の清和県民の森の自然を楽しむ事ではタチツボスミレ、フモトスミレ、ヤマドリソウ、フデリンドウ、ミツバツツジ(君津市の花)、マルバアオダモ、オオバウマノスズクサ等々を楽しめました。



ミツバツツジとマルバアオダモ



オニシバリ



ウワミズザクラ

F I C チーフ講師：長嶺 勝 アシスタント：和波牧子 石松成子 福村英俊 神子秀男
オブザーバー：渡邊 勲 植沢 俊